



横浜市議員

かわら版瀬谷 花上きよし市政レポート

2025年2月(第527号)

花上きよし事務所 ☎(363)9749
瀬谷区三ツ境174-37

令和7年度予算特集

山中市長が新年度予算案を発表！ 「市民の命と暮らしを守る」総額約4兆円に迫る

(解説)横浜市議員 花上喜代志



▲山中市長に予算要望した花上市議

1月27日、山中竹春市長が令和7年度の予算案を発表しました。

一般会計1兆9,670億円、特別会計1兆3,650億円、公営企業会計6,340億円、総計3兆9,710億円で前年比4%増となりました。

私は山中市長当選直後から「市民のいのちと暮らしを守る政策の実現」と、一方で「健全財政の維持」に務めることを市長に要望して来ました。

山中市長はその提案を受けて、まず「財政ビジョン」を策定、続いて「中期計画」を更に「行政運営指針」を策定、議会の審議を経て制定されました。

新年度の予算案はこうした経過を経て提案されたもので、1月28日から始まった横浜市政で審議され3月25日に議決されます。

私は3月18日の予算総合審査で山中市長に質疑を行う予定です。

377万横浜市民の暮らしを守るため、少子高齢化の進行や人口減少などの社会情勢の変化に対応して、横浜の新時代を切り拓くためのきめ細やかな政策の実現に向けて奮闘して参ります。

新年度予算の特徴は、少子高齢化や、人口減少の進行によって横浜の活力が失われることがないための政策をしっかりと進める予算となりました。

特に子育てしやすい街づくりを進め、中学生まで医療費無料化や出産費用の助成制度の充実に取り組んで行くなど、若い人達に魅力ある政策を打ち出しています。

また、一方、高齢化の進展により、高齢者の引きこもりを防ぐため、75歳以上の高齢者の敬老パスの無料化に向けて更にデータを活用した対策を進めます。

躍動するスポーツ都市ヨコハマを！・花上喜代志



水泳



スキー(1級)



野球



少林寺拳法(4段)



サッカー



花上きし市政レポート

2025年2月(第527号)



人口377万人の巨大都市・横浜

行政改革できめ細かい教育行政を！

横浜市の人口は377万人と、国内最多の基礎自治体。大阪市や名古屋市を上回り、静岡県や四国四県と同程度となっています。

巨大化した横浜市において、神奈川県との二重行政を解消し、きめ細かい行政サービスを実現する新たな枠組みが「特別市」であり、市では法制化を目指しています。

“きめ細やかさ”は教育行政においても求められており、市立学校が500校を超えるなか、全ての児童・生徒に質の高い教育を提供しなければなりません。

横浜市では2010年、政令指定都市として初の学校教育事務所を、東西南北の市内4カ所に開設しました。

これは私が提言していたもので、より学校に近い現場から教育課程や学校経営などを的確・迅速に支援しています。

事務所開設から15年が経ち、横浜市の教育を取り巻く環境は複雑化。

いじめの早期発見・対応、不登校児童・生徒に対する教育環境の整備、ICT環境の構築、学校や通学路における安全対策などが求められ、教員の確保も大きな課題です。

4方面の事務所をさらに発展させ、各区の課題に対応できる機構改革が必要です。



▲高木山梨市長と意見交換

高木山梨市長を訪問 意見交換しました。

山梨市の高木晴雄市長を12月に訪問し、地方自治の実態と自治体経営の在り方を意見交換。

ふるさと納税や医療対策についても話し合いました。

大都市横浜市にとっても参考になる話し合いでした。



[好評]山中市長と共に横浜新時代を！

花上喜代志市議の出前議会報告会

皆さんのグループのお集まりに花上市議が伺い、ホットな横浜市政の動きをお伝えします。

お気軽にお申込みください！

☎ (363) 9749 花上きよし事務所